

## 学位論文審査の要旨

	飯塚 有紀【論文博士】 【人間発達科学専攻 平成16年度生】 (平成25年3月31日単位修得退学)	要 旨
学位申請者		<p>飯塚氏の博士論文審査会は、平成27年11月26日(木)に第1回を開催した。提出された論文は、最早期の母子分離を余儀なくされる NICU(新生児集中治療室)に入院中の低体重出生児とその母親の関係構築について、研究1では、母親の「だっこ」時という再接触場面における母子間の行動を観察することによって、母子関係再構築の様相を行動レベルで明らかにし、研究2では、その母親の妊娠から NICU 入院時までの体験をインタビューを通じて、母親の視点から最早期母子関係の危機状況や再構築のきっかけを明らかにしたものである。すなわち、医療現場において、最早期の母子の危機場面のデータを収集し、最早期の母子分離体験に対して臨床心理学(臨床心理士)が、どのような援助ができるかという可能性を論じた、きわめて実践的な研究として評価された。</p> <p>ただし、研究1と研究2の内容はすでにレフェリー付きの学会誌に掲載され一定の質が保証されているが、両者のつながりが不明確であること、また、全体を纏める理論的な構成に不備があるとして修正が求められた。平成28年6月3日に第2回審査会が開催され、章立てや理論的構成の未整理、用語の明確化などの不備について各委員から問題点が指摘され、修正が求められた。8月2日の第3回審査会では、いくつかの細かい不備はあるものの、審査委員が要求したレベルに達したと判断され、8月24日公開審査会が行われた。論文全体についてプレゼンテーションがなされ、委員、参加者からの質疑が行われた。</p> <p>公開審査後の最終審査会では、飯塚氏のプレゼンテーションと質疑の際の回答が適切であったこと、今後ますます低出生体重児が増加することが予測されることから、臨床的にも非常に意義のある研究であり、臨床現場に貢献できることが期待されるものとして、博士(人文科学)、Ph. D. in Psychology にふさわしい論文であると評価された。</p>
論文題目	NICU に入院を経験した低出生体重児とその母親との最早期における母子関係の構築について	
審査委員	(主査) 教授 藤田 宗和	
	教授 菅原 ますみ	
	教授 篁 倫子	
	教授 岩壁 茂  早稲田大学人間科学学術院 特任教授 井原 成男	
インターネット公表	<p>○ 学位論文の全文公表の可否(否)</p> <p>○ 「否」の場合の理由</p> <p style="margin-left: 20px;">ア. 当該論文に立体形状による表現を含む</p> <p style="margin-left: 20px;">イ. 著作権や個人情報に係る制約がある</p> <p style="margin-left: 20px;">ウ. 出版刊行されている、もしくは予定されている</p> <p style="margin-left: 20px;">○エ. 学術ジャーナルへ掲載されている、もしくは予定されている</p> <p style="margin-left: 20px;">オ. 特許の申請がある、もしくは予定されている</p> <p>※ 本学学位規則第24条第4項に基づく学位論文全文のインターネット公表について</p>	